九州工業大学との連携事例紹介

Kyushu Institute of Technology

九州工業大学　教育接続・連携PF推進本部
キャリアオーナーシップ課作成

共創空間	GYMLABO（ジムラボ） ポルト棟
就職、キャリア教育関連	ITエンジニアリングスキルアップ講座（KCL） 就職関連イベント：学内合同企業説明会 就職関連イベント：人材育成セミナー 車座になって先輩と語ろう 就職関連イベント：IT業界・企業研究会 IT企業のお仕事を知ろう！ リクルーター訪問 有給インターンシップ インターンシップ型アルバイト 正課教育での連携 授業でのゲストスピーカー 大学院実践演習のクライアント リカレント・リスキリング教育での連携 社会連携講座
研究関連	共同研究講座 産学官連携推進会「Kyutechコラボ」 技術相談
学生支援関連	学生プロジェクト

GYMLABO（ジムラボ）
（戸畑キャンパス内）

オープンスペース、ミーティングルーム、
カンファレンスルーム、リモート会議ブース
などを備えたコワーキングスペースです。
ドロップイン利用（¥500／日）にてご利用
いただけますが、KyuTechコラボ（→P.16）の
会員となることで会員価格での利用が可能です。
また、施設の一部を貸し切ってのイベント開催なども
可能です。（別途利用料などが必要です。）

グローバルな人材、アイデア、シーズなどを有機的に結びつける交わりの
形成拠点として、2022年5月にオープンしました。
本学で学ぶ、知を接続し、組み合わせ、さらには世界を見据え、未来を
考えることができる若い人材を起点に、社会との多様な共創活動を
生み出していきます。
交わりの形成拠点となるGYMLABOから産官学一体となったイノベーションの創出に寄与してまいります。

GYMLABO ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ https://www.gymlabo.kyutech.jp/

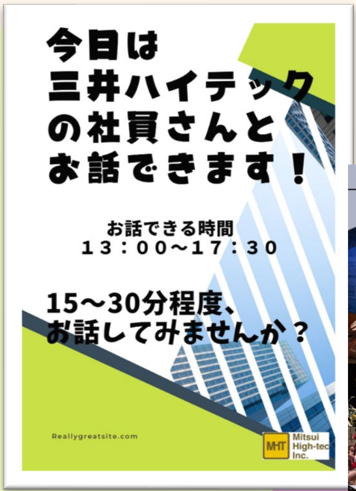
GYMLABO Twitter　https://twitter.com/gymlabo

KyuTechコラボ　https://www.ccr.kyutech.ac.jp/collabo/join/

※KyuTechコラボの詳細はP.16をご覧ください。

HP　Twitter　KyuTech コラボ 会員登録

KyuTechコラボ会員企業様等との連携によるイベント



企業との交流イベント

JAZZライブ

カーボンニュートラル
ワークショップ

クリスマスウィーク

【問合せ】
ソーシャルコミュニケーション課
社会連携企画係
sc-kikaku@jimu.kyutech.ac.jp

ポルト棟（飯塚キャンパス内）

ワークルーム、コワーキングスペース、コワーケーションスペース、ミーティングルームなどを備え、２階にはキャリア支援室も設置されている複合空間です。
施設の一部を貸し切ってのイベント開催なども可能です。
（別途利用料などが必要です。）

2022年5月にオープンし、
・共創の場として、産学連携につながるシナジーを生み出す空間
・キャリアオーナーシップ（キャリア支援）を持ちうる空間
・ニーズ・シーズを発信し、学生や来訪者がムアリング（繋留）できる空間
・タイム・シェアリングできる空間
など、多彩な機能を持っています。

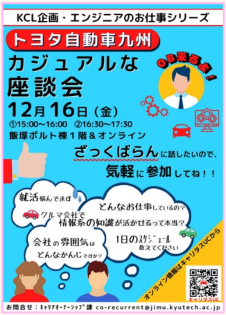
飯塚キャンパスを中心とした産官学連携による多様な共創活動の拠点となっています。

名前に込めた思い

PORTO（ポルト）：出会いの場
多くの来客・知識・技術等がオンサイト及びオンラインで
入り込み(import)，混じり合い，
共に働き(sy-energy)
出て行く(export)

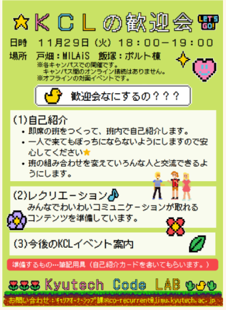
参考：
・ポルトガル：ガレの港
・Portare(ラテン語)：持ち運ぶ

キャリアオーナーシップ課では、飯塚キャンパスでのイベントをポルト棟で実施しています。



↖↑企業とのMeetUp

GitHub講座



学生同士の交流会

LT会

【問合せ】
ソーシャルコミュニケーション課
社会連携企画係
sc-kikaku@jimu.kyutech.ac.jp

キャリアオーナーシップ課
co-recurrent@jimu.kyutech.ac.jp

ITエンジニアリングスキルアップ講座
Kyutech Code Lab（KCL）

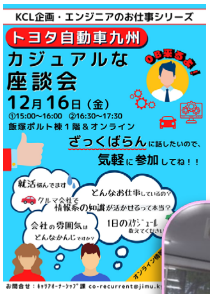
プログラミングをキーワードに、「世の中の課題をITで解決できるエンジニアの育成」を目指した産学連携の正課外教育プロジェクトです。

３つの学習フェーズ

①学生同士で学ぶ　自己学習やグループでプログラミングを学ぶ。

②企業とOB/OG から学ぶ

OB/OG エンジニアから学ぶITエンジニアセミナーや、MeetUp で企業の方の話を聞き、より実践的なキャリアを学ぶ



↓飯塚キャンパスで行われた対面でのミートアップの様子

③アウトプットして学ぶ

ピッチコンテストでアイデアや自作のプロダクトを発表、OB/OG 等からのフィードバックもあり試行錯誤して学ぶ

↙↓ピッチコンテストの様子

パートナー企業の皆様が審査員やオーディエンスとして参加し、コンテスト後には企業と学生の交流会を開催しました。

ミートアップやピッチコンテストのほかにも、会社訪問や企業様主催のプログラミングに関連する勉強会の開催、ハッカソンのメンターなど、さまざまな形でキャリア教育としての学生との接点があります。

大学としては、コロナ禍で学生同士の接点が減ったことを課題に感じており、KCLの活動を通して、「学びのコミュニティ形成」を目指しています。

KCLの特徴：産学連携で実践的に学ぶ

1. 本学OB/OGのITエンジニアによるセミナーや勉強会などのフォローアップで実践的に学ぶ。
2. IT企業を中心とした企業（パートナー企業）とのMeetup等の関わりの中で、ITエンジニアに必要な知識、スキル、マインドを学ぶ

企業様と学生の接点

➡ オンラインや対面でのMeetup（座談会、説明会勉強会）の実施

2022年度パートナー企業様一覧表

NTTデータ九州、オイシックス・ラ・大地、オービック、
QTnet、京セラ、外資系IT企業、ＳＵＭＣＯ、
GMOインターネットグループ、トヨタ自動車九州、
日鉄ソリューションズ、パイプドHD、ファイバーゲート、
村田製作所、ラック、Relic

※敬称略、50音順

※2023年5月24日時点

	工学部		工学府		情報工学部		情報工学府		生命体工学研究科	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1年	0	1	2	0	11	5	5	1	3	0
2年	3	0	7	0	23	3	2	0	2	0
3年	7	0			18	6			1	
4年	7	5			34	4				
合計	17	6	9	0	86	18	7	1	6	0

150名の学生が参加しています。

【問合せ】
キャリアオーナーシップ課
co-kcl@jimu.kyutech.ac.jp

「学内合同企業説明会」

就職活動を始める学生への支援として、採用活動に関する情報を各企業より学生へ提供していただくことを目的としたイベントです。
また、キャリア教育の一環として学部低学年生へ対し「企業説明会参加体験」の場として参加を促しています。。

実施時期 ： 3月上旬
実施方法 ：オンライン
参 加 費 ：80,000円

2021年度開催実績：
2022年3月1～4日開催
参加企業数524社
参加学生数延べ5,518名

＜実施方法＞

ターム	時間	スケジュール	
第1ターム	9:15－9:30	9:15－9:30	ログインおよび接続テスト
	9:30 - 11:05	9:30 - 9:55	1回目：会社説明・質疑応答
		9:55 - 10:05	学生の入退室
		10:05 - 10:30	2回目：会社説明・質疑応答
		10:30 - 10:40	学生の入退室
		10:40 - 11:05	3回目：会社説明・質疑応答

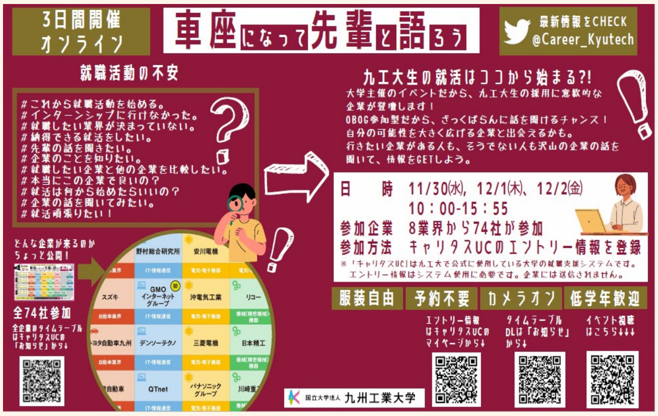
1社につき25分間の会社説明（質疑応答含む）を3回実施していただきます。

学生の声
「とても有意義な時間となり、今後の就職活動に向けて、自分でさらに企業研究をして、しっかり準備したいと思いました。」
「九工大生に興味のある企業が参加しているので、エントリーする企業の参考には十分なったと思う。」

【問合せ】
キャリアオーナーシップ課
gak-syushoku@jimu.kyutech.ac.jp

「人材育成セミナー　～車座になって先輩と語ろう～」

本学OB/OGを中心として企業様と就職活動を直前に控えた本学学生が繋がりを持つことを目的としたイベントです。
過去の採用やリクルーターの実績を勘案した招待制の限定イベントです。



実施時期　：11月下旬～12月初旬
実施方法　：オンライン
参 加 費　：50,000円
参加方法　：招待制

2022年度開催実績：
2022年11月30日～12月2日開催
参加企業数74社
参加学生数延べ1,855名

＜実施方法＞

ターム	時間	スケジュール	
第1ターム	9:45 – 10:00	9:45 – 10:00	ログインおよび接続テスト
	10:00 - 11:05	10:00 - 10:30	1回目　説明時間・質疑応答含む
		10:30 - 10:35	学生の入退室時間
		10:35 - 11:05	2回目　説明時間・質疑応答含む

本学OB/OGの方を中心にご登壇いただき、1社につき30分間の会社説明（質疑応答含む）を2回実施していただきます。

参加学生の声：「今までは、会社全体の説明しか聞いたことがなかったけれど、OBの先輩の仕事のやりがいなどを聞くことができてよかった。」
「参加している企業数も多く、これまで聞いたことのなかった企業のお話しをお聞きすることが出来てよかったです。」

参加企業の声：「卒業生が登場し、アットホームな雰囲気で話ができるのはとても良いです。」「学生が希望する会社を決めていく時期になると思いますので、いい開催時期だと思います。」

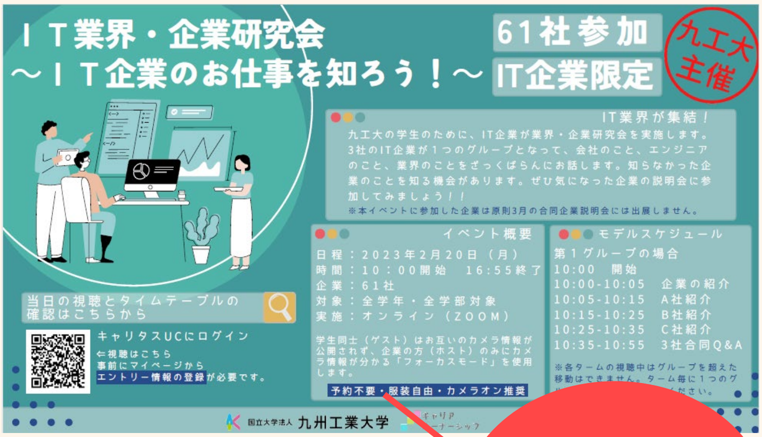
【問合せ】
キャリアオーナーシップ課
gak-syushoku@jimu.kyutech.ac.jp

「IT業界・企業研究会　～IT企業のお仕事を知ろう！～」

高まるIT関連企業のニーズを受けて、2022年度初めて開催するイベントです！
内容：IT企業3社1グループの合同セミナー形式にて開催する、IT業界・企業について学生が学ぶことができるイベントです。
学生に社会で必要とされる能力や技術を知ってもらい、職業観や勤労観の育成を図ることを目的としています。

実 施 時 期：2月中旬～下旬
実 施 方 法：オンライン
参　加　費：40,000円

＜実施方法＞
MCが3社を紹介した後、各企業10分ずつ会社説明を行っていただきます。その後20分間、質疑応答、3社ディスカッションの予定です。



2022年度初開催！

2023年2月20日開催予定
参加企業数61社

「リクルーターの訪問」

大学主催のイベントのほか、
各キャンパスのキャリア支援室や就職担当教員等を通して、リクルーターによる座談会も実施しています。

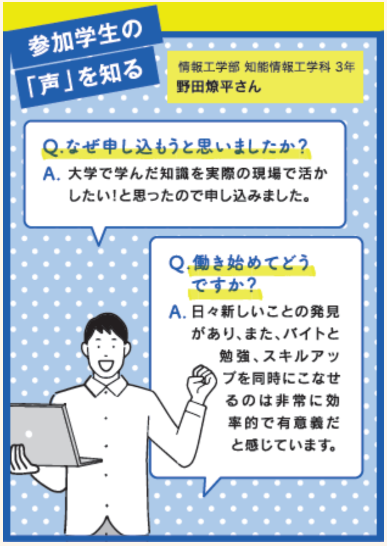
【問合せ】
キャリアオーナーシップ課
gak-syushoku@jimu.kyutech.ac.jp

有給インターンシップ

北九州市の助成金を活用した制度です。
九工大生が大学で学んだ知識を活かし、地元企業の課題解決に取り組む有給のインターンシップです。

ご依頼の内容について、九州工業大学のキャリアコンサルタントが企業ニーズと九工大生のスキル、マインド等のマッチングを行います。

学生のスキルアップに繋がるインターン内容をご提案いただけましたら幸いです。



有給インターンシップ申込フォーム
https://www.kyutech.ac.jp/yukyuintern-offer/

【問合せ】
キャリアオーナーシップ課
co-recurrent@jimu.kyutech.ac.jp

インターンシップ型アルバイト

仕事内容を学生の専攻分野に関することに限定したアルバイトです
「学生教育」、「企業との連携」に力を入れている大学と、「学生採用」、「大学との連携」を期待する企業のニーズをマッチングさせることを目的とした新しい産学連携の取組みとして実施しています。
九工大生にとっては、実際に、授業で習得した知識・スキルを活かせるだけでなく、社会の現場で職業選択、適性の見極めを体験することができるなど、インターンシップのメリットを取り入れたアルバイトとなっています。

本学では博士学生の支援を行っています。積極採用をご検討ください！
https://www.ccr.kyutech.ac.jp/dc_support/

(注)インターンシップ型アルバイトは、通常のインターンシップと異なり、単位付与は実施していないため、企業様に、「成績評価」を依頼することはございません。なお、ご利用にはKyutechコラボ（→P.16）への入会が必要です。

【問合せ】
産学イノベーションセンター
産学連携担当（KyuTechコラボ事務局）
collabo-jimu@ccr.kyutech.ac.jp

正課教育（カリキュラム）での連携

需要創発コース

企業等におけるシステム開発や製品開発と同様の過程を、チームプロジェクトとして経験することで、実践的な技術力、問題解決能力、コミュニケーション能力を身につけ、需要（ニーズ）を創発できるような人材育成を図っています。
学生は、クライアントである企業、大学、公共団体等から、現実の課題解決という依頼を受け、その課題の問題点を分析し、解決手法を見つけ提案し、そして、プロトタイプを経て製品を作成し、最後に、納品およびそのためのプレゼンテーションを行います。

具体的には、「大学院実践演習」の演習科目として、5～6名程度のチームで活動します。専攻や研究室の異なる学生が集まってチームを組み、ひとつの目標に向かって活動します。

チームごとにプロジェクトテーマを設定し、各チームは、原則として、そのプロジェクトを1年半かけて遂行してゆきます。

活動日程は、プロジェクト毎に異なります。たとえば、毎週決まった時間帯の開講であったり、休暇期間中の集中講義形式、あるいはそれらの組み合わせなど、さまざまです。

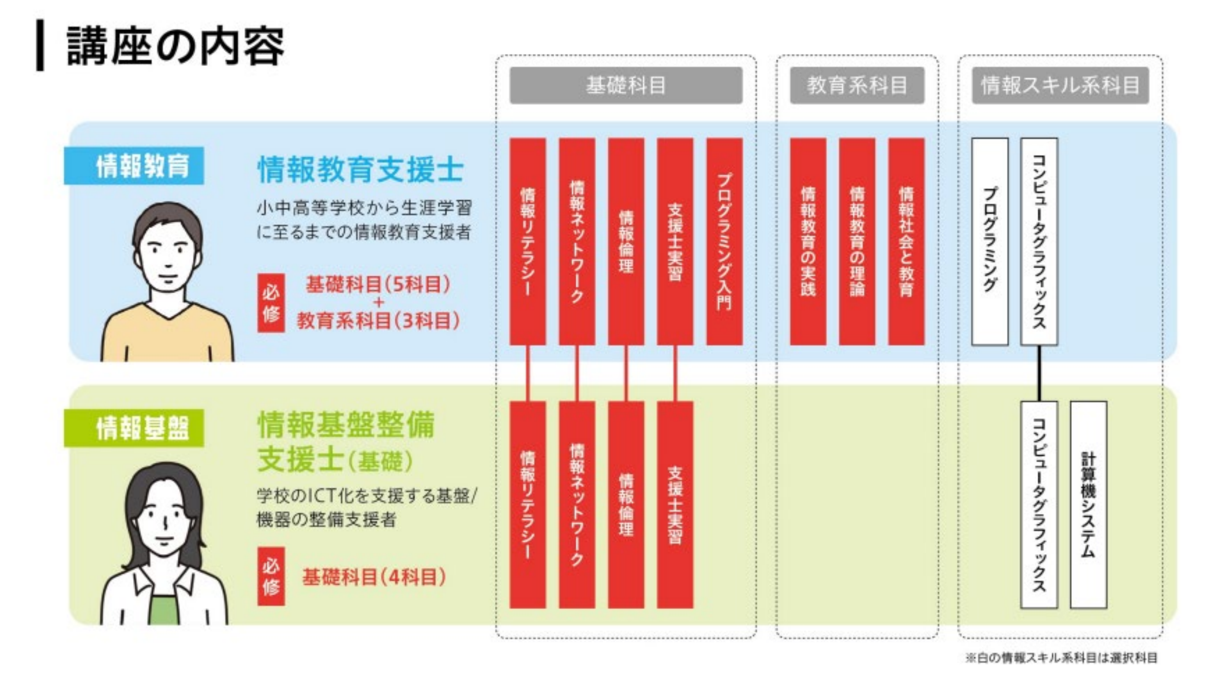
大学院実践演習I	M1前期	問題分析、要件定義、仕様作成
大学院実践演習II	M1後期	工程計画、プロトタイプ製作・評価
大学院実践演習III	M2前期	工程計画、製品製作・検査、プレゼン・納品

プロジェクトテーマ例
・ソフトウェア開発プロジェクトの見える化支援ツール
・CHIKUSUKI WEB利用ユーザーの増加
・AIとIoTを活用した情報サービスソリューション
・HPCクラスタのインスタント構築基盤ススクリプト/APIの開発　　など

上記以外にも、
「実務家教員」として、非常勤講師で授業をご担当いただいたり、ゲストスピーカーとしてご講演いただくこともございます。
また、「協定締結」により、授業科目を新規に策定・開講いただく案件もございます。

リカレント・リスキリング教育での連携

九工大が提供しているリカレント・リスキリング教育プログラムの中には、企業と連携して、教育コンテンツ（科目）を運営しているものがあります。
リカレント・リスキリング教育での連携を通して、本学の教育の発展・深化に関わっていただけましたら幸いです。
　例）情報教育支援士・情報基盤整備支援士



今後のキーワード

①履修証明プログラム
　社会人等の学生以外の者を対象とした特別の課程で、 教育・研究資源を活かし一定の教育計画の下に編成された体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムです。総時間数60時間以上で設定されてます。
プログラムの修了者には，学校教育法に基づく履修証明書を交付します。
　在学生も、一定の条件を満たせば履修することができます。

②人材バンク（仮称）
ＯＢ・ＯＧ，リカレント・リスキリング受講者等との連携を図るためのプラットフォームをつくり，キャリア支援，そのためのリカレント・リスキリング教育支援などの情報の共有を目指して、構想・企画を進めています。

【問合せ】
キャリアオーナーシップ課
co-recurrent@jimu.kyutech.ac.jp

社会連携講座

企業や自治体等の外部機関から教員を受け入れ、講座を設置し、社会的ニーズの高い課題に対して、九工大と外部機関が連携して教育研究を行う制度です。
多様化する社会的ニーズに対応した人材育成等を行うことを目的としています。
2022年に創設した新たな制度で、順次、新しい講座が開設されています。

- 社会連携活動が加速：社会連携講座等教員の配置により、人材育成等の取組をより充実させることができます。
- 大学の組織的サポート：大学の組織的サポートや学内リソースのフル活用ができます。
- 学生へのPR効果：企業や自治体等名の冠につけた講座等を設置することができるため学生へのPR効果が期待できます。
- 派遣教員のモチベーションアップ：社会連携講座等教員には、特任（准）教授などの役職がつきます。

社会連携講座等制度 概要

＜社会連携講座等　講座一覧＞

※2023年5月1日現在

講座名称	受入部局	設置期間
半導体産業イノベーション推進連携部門	先端研究・社会連携本部 マイクロ化総合技術センター	2022.4.1～2025.3.31
Web3 Lab	情報工学研究院（情報・通信工学研究系）	2023.4.1～2026.3.31

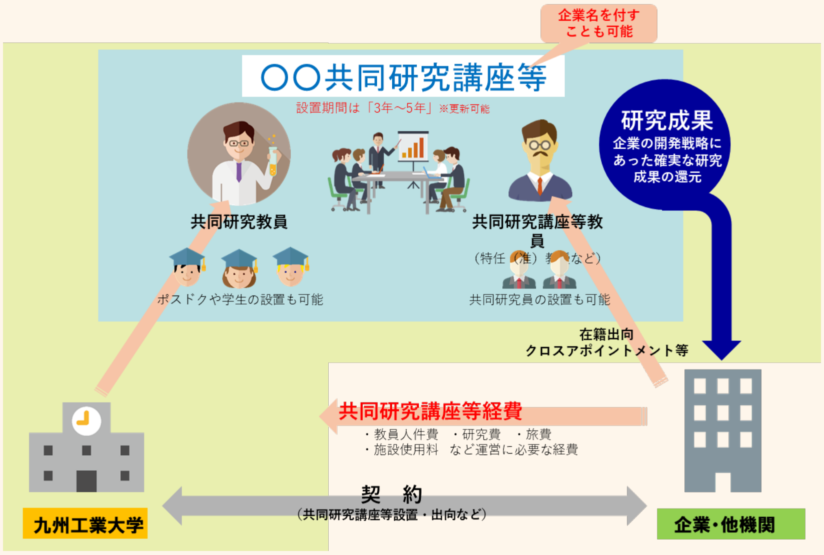
【問合せ】
ソーシャルコミュニケーション課
社会連携企画係
sc-kikaku@jimu.kyutech.ac.jp

共同研究講座

　企業や研究機関等から学内に教員や研究者を受け入れ、講座を設置し、組織的に教育研究活動を行う制度です。大学と企業等の共通の研究課題について、対等な立場で共同して 研究を行っており、出口を見据えた優れた研究成果が生まれることで、大学として 研究活動の更なる充実と産業界への一層の貢献を目指しています。

　2015年に創設した共同研究講座等制度は、次々に講座が開設され、2023年1月現在で、6講座が運営されています。今後も共同研究講座の増加により、さらなる産学連携が期待されています。

共同研究講座等制度 概要



＜共同研究講座等制度のメリット＞

- 共同研究が加速：共同研究講座等教員の配置により、研究のスピードアップが図れます。
- 知的財産権の共有：企業側のメリットも十分配慮し特許等の共同出願を行います。
- 大学の組織的サポート：大学の組織的サポートや学内リソースのフル活用ができます。
- 大学の研究者としての研究活動：本学の様々な知見等へのアクセスが容易となり研究の発展が期待できます
- 学生へのPR効果：企業名に冠につけた講座等を設置するため学生へのPR効果が期待できます。
- 派遣研究者のモチベーションアップ：共同研究講座等教員には、特任（准）教授などの役職がつきます。

＜共同研究講座等　講座一覧＞

※2023年4月1日現在

講座名称	受入部局	設置期間
SUMCO共同研究講座（㈱SUMCO）	生命体工学研究科	【第1期】2017年7月～2020年6月 【第2期】2020年7月～2023年6月
IoTシステム実装研究講座（パナソニック㈱）	工学研究院（電気電子工学研究系）	【第1期】2017年11月～2020年10月 【第2期】2020年11月～2024年3月
プラントライフサイクルエンジニアリング（PLE-TAKADA）講座（㈱高田工業所）	生命体工学研究科	【第1期】2018年4月～2021年3月 【第2期】2021年4月～2024年3月
上野精機次世代先端技術共同研究講座	生命体工学研究科	2022年4月～2025年3月
ＧＸ材料デバイス研究講座（九州工業大学・パナソニック インダストリー共同研究講座）	工学研究院（物質工学研究系）	2023年1月～2026年3月

【問合せ】
研究企画課産学連携係
ken-sangaku@jimu.kyutech.ac.jp

共同研究講座

KyuTechコラボとは？

九州工業大学が、産業界等との多様な連携活動を通じて地域の産学官連携のうごきを一層加速させ、地域社会の課題解決やイノベーション創出に貢献するために、2020年度に創設した産学官連携推進会の愛称です。

入会するメリット

年会費

法人会員	１口　５０，０００円／年
個人会員	１口　１０，０００円／年

※会計年度は４月～３月となります

※個人会員は年会費５口でGYMLABO会員アカウントが無料となります

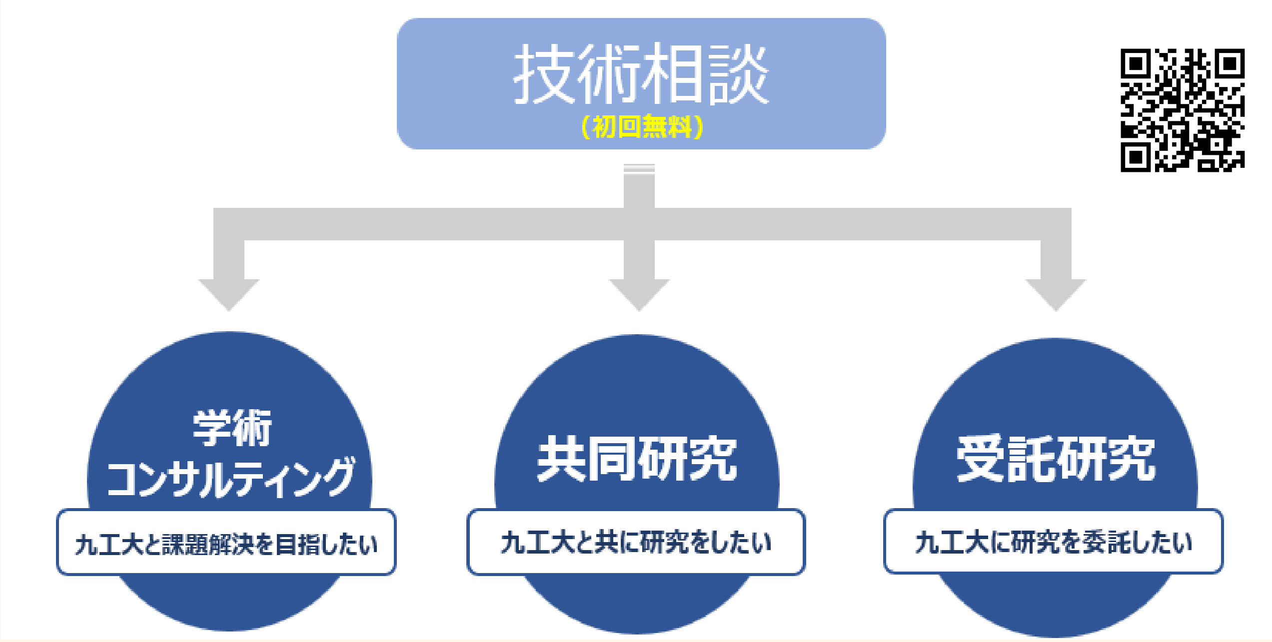
<申込フォーム>

【問合せ】
産学イノベーションセンター
産学連携担当（KyuTechコラボ事務局）
collabo-jimu@ccr.kyutech.ac.jp

技術相談

先端研究・社会連携本部 産学イノベーションセンターでは、企業の皆様からの技術相談を随時受付けております。

申し込みフォームからの依頼内容について、学内コーディネーターおよび本学教員と協議しまして、後日、ご連絡させていただきます。



【問合せ】
産学イノベーションセンター
技術相談受付
sanrenhan@ccr.kyutech.ac.jp

AIを活用した企業ニーズと大学シーズのマッチングシステム「IQUESTECH」

技術相談などにあたっての研究者とのマッチングを、AIを活用して支援する新しいシステムの開発を進めています。

技術相談の内容を文章で入力すると、AIが抽出したキーワードと研究者の論文などの公開データをもとに、その技術相談に対応するうえで最適とAIが判断した研究者10名を、おすすめの研究者として表示します。

効率的に最適な研究者を探すことが可能となり、技術相談などが行いやすくなります。

産学官金の連携を促進し、学術研究だけでなく、地域社会や産業界の発展にも貢献することを目指しており、今後は広く皆様にご活用いただけるよう、準備を進めておりますので、ご興味がありましたら以下にお問合せください。

【問合せ】
ソーシャルコミュニケーション課
社会連携企画係
sc-kikaku@jimu.kyutech.ac.jp

学生プロジェクトへの支援

「学生プロジェクト」とは…

技術系競技大会への参加や、地域貢献に資するボランティア活動などの課外活動を学生が自主的に企画し、取り組む活動で、これを通して、問題発見・解決能力を養い、世界で通用する先導的リーダーシップを発揮できる創造的人材の育成を目指しています。
九州工業大学では、世界で通用する高度技術者育成のため、この学生プロジェクトに取り組む学生に対し、活動資金の支援を行っています。
学生が自ら学び、自ら考え研鑽するこの学生プロジェクトにご理解・ご賛同いただきましたら、九州工業大学基金を通して学生プロジェクトにご支援いただきますこと、何卒よろしくお願い申し上げます。
ご関心をお持ちの方は、お手数をおかけしますが、担当までご一報くださいますようお願いいたします。

支援内容

- 1回にご支援いただける金額につきましては、個人・企業様等問わず、千円からお待ち申し上げております。
- 一年度に30万円以上のご支援をいただきましたら、当該年度の学生プロジェクトに関する広報資料におきまして、ご氏名（名称）もしくはロゴマーク等を掲載させていただきたいと思います。
- 一年度に100万円以上のご支援を複数年度にわたりいただける場合は、ご氏名(名称)等を冠した特別賞を創設させていただきたいと思います。

特　典

- 学生プロジェクトへのご支援は、国立大学法人に対する寄附としての取り扱いになりますので、税制上の優遇措置が適用されます。
- 毎年度末に当該年度の学生プロジェクト成果発表会を開催しております。ご支援をいただきました方には、この発表会にご招待いたします。

協賛企業様一覧

株式会社 安川電機 様
株式会社 QTnet 様
株式会社 西日本シティ銀行 様

【問合せ】
学生生活・健康支援課学生生活支援係
gak-gakshien@jimu.kyutech.ac.jp